
歪愛

茶々

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

歪愛

【ZPDF】

Z1003Z

【作者名】

茶々

【あらすじ】

『アイ』の形は、人それぞれ。

(前書き)

貴方の愛する人を思い浮かべてみて下さい。

月夜の下、はだけた服の下から覗く素肌は、まるで白い彫像の様に美しい。

そっと指を走らせれば、くすぐったそうに彼女は身をよじつた。

真っ赤に染まつた顔は、潤んだ瞳と共に僕に向かられている。それはどんな魔法よりも強力で、誰でもない僕を君の虜にしてしまう。

奪う様に、それでも優しく丁寧に、彼女の唇に自分のそれを重ねた。視界いっぱいに広がるその顔は、今まで見たどの顔よりも艶やかで、綺麗で。

全てが欲しい。君の全てを、僕だけのものにしたい。

狂っているのかもしれない。毒されたのかもしれない。
でも、それでもいい。

白い肌に指を走らせれば、どんな風に悶えてくれるのか。
柔らかい膨らみを掌中で弄べば、どんな風に声をあげてくれるのか。
彼女一番大事な場所を僕の色に染めれば、どんな風に踊ってくれ

るのか。

知りたい。知りたい。知りたい。

君の全てを、何もかもを。僕だけの色で染めて、僕だけのものにして。

それを狂つといつのなら、僕は喜んで狂つてやるぞ。

ねえ、刹那。

こんな風にしか君を愛せない僕を、君はどう思つ?
こんな形でしか想いを伝えられない僕を、君はどう思つ?

答えてはくれない。だって彼女の口は僕がいま塞いでいるから。

口を離せば、きっと彼女は嬌声をあげて踊り狂つ。僕の指の動き一つで、彼女の全てを想いのままに出来る。

そんなのははつまらない。もっと、もっとともがいてくれよ。

僕の腕の中で必死に身体をよじる君が、何よりも愛おしい。もっと足掻いて、抵抗して、そしてそれでも尚、君は僕から逃れられない。

僕が君に狂つた様に、君も僕に狂うから。狂わせてみせるから。

今はまだ大丈夫でも、いざれ僕しか見えなくしてみせる。

だから今は、まだ純粋に彼女を想える自分がいるこの刹那は。

ただ想いのままに、君を求めたい。

(後書き)

以前書いた短編を手直ししたものです。『刹那』は適当に思い浮かんだ名前なので、お好きに変換して下さい。

何というビター！！

みたいな感想を抱いて頂ければ幸いです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1003n/>

歪愛

2010年10月12日08時28分発行